

■総合計画進行管理表

「わたしたちはこんなまちにしてい」全般に対する評価と今後の対応

◇市の評価

<総括評価>

総合計画初年度としては概ね順調な滑り出しになったと考える。

その中でも、人口減少を克服するための中心的政策である「誰もが心豊かに子育てできるまち」がA評価となったが、人口の微減傾向は続いており、評価に満足することなく、今後、情報発信の強化や教育との連携などさらなる充実を図りたい。

課題は、「医療・保健・福祉が連携した安心・健康長寿のまち」の進捗がC評価とやや遅れていることであり、困難な目標ではあるが、超高齢社会を乗り越えるために一層の強化が必要である。2016年度に市役所1階と逗子アリーナに未病センターを、2017年度に逗葉地域医療センターに在宅医療介護連携拠点を設置予定であり、積極的に取り組んでいく。

また、まちづくりを推進するためには、その基盤である地域自治システムの進展が不可欠である。2016年度当初予算で当該事業費が減額修正され、6月に補正予算で復活するという不安定な状況を解消するために、地域の体制づくりを一層支援していきたい。

一方、評価において幾つかの課題が浮き彫りになった。まず、政策の柱ごとに定めている基幹計画・個別計画の評価の仕方にバラツキがあるため、各部門間の意思統一を図っていく。また、リーディング事業とベンチマーク指標の既に達成した項目については更なる推進を目指して、しっかりと目標管理を行う必要がある。さらに、第5節の市民自治の項目は自己評価が甘いと指摘されたことを受け止め、実態を踏まえた評価に留意したい。

今回の評価を市政運営に反映するとともに、個別計画から総合計画に至る、より実効性の高い進行管理システムを確立していく。

政策効果を高めるために、進捗を加速するために、工夫・重点化すべき点

○予算

待機児童対策などの子育て支援、医療と介護、障がい者施策など福祉に関連する予算は増大し続けており、行財政改革が必須である。財源の確保、人件費の抑制などに努める一方、受益者負担の適正化も避けて通れない。

2015年10月に家庭系ごみ処理有料化が始まり、そして、2016年10月からは持込みごみ手数料を改定する。新たに葉山町とのごみの共同処理の検討にも着手しており、効率化による財政的メリットを早期に実現できるよう努力したい。

また、2016年度は地方創生加速化交付金や神奈川県市町村自治基盤強化総合補助金を活用し、リーディング事業である海岸活性化や健康増進、共育推進の各事業を拡大実施しており、来年度も特定財源を活用した効果的な施策を展開していきたい。さらに、受益者負担の見直しとして、2017年度に証明書等発行手数料・国民健康保険料・福祉会館使用料の改定を予定している。引き続き、財政の健全化に努めていく。

○人・組織

2016年度から新たな人事制度をスタートさせ、全職員が目標を明確にして、人材育成と業務マネジメントを行う体制を構築した。それと同時にワークライフバランスの意識付けを徹底し、業務の効率化により無駄な時間外勤務をなくすよう指導している。

また、2017年4月に、時代の変化に対応した機能的な組織に再編するため、子どもセクションの教育委員会への一元化、シティプロモーションの強化、組織のスリム化を主眼とした機構改革を目指している。さらに、常勤職員、非常勤職員、派遣職員等の業務分担の再構築による効率的な組織体制の検討を進めていきたい。

◇ 基幹計画に位置づけられる個別計画の総括評価結果

柱	基幹計画評価			個別計画評価			施策体系評価			リーディング ・基幹計画事業		
	A	B	C	A	B	C	a	b	c	(a)	(b)	(c)
第1節	-	1	-	1 (2)	3 (3)	1 (0)	9 (10)	5 (5)	1 (0)	17 (19)	7 (6)	2 (1)
第2節	-	1	-	4	1	-	14	3	-	17 (18)	4 (3)	-
第3節	-	1	-	2	2	-	8	2	-	19	4	-
第4節	-	1	-	2	3	-	9	4	-	9	4	-
第5節	-	1	-	3 (2)	1 (2)	-	6 (5)	1 (1)	- (1)	6 (5)	1 (1)	- (1)
合計	-	5	-	12 (12)	10 (11)	1 (0)	46 (49)	15 (12)	1 (2)	68 (67)	20 (16)	2 (2)

※ () の数字は、審議会等から指摘を受けた評価に変更した場合

◇総合計画審議会の意見／【Check】の観点からの意見等

＜総括評価意見＞

第4節及び第5節は、他の3つの節に比べて、施策の柱としては取組みが十分なレベルにあると理解するには難しい状況である。基幹計画・個別計画の多くが未策定であることが影響していると思われるが、総合計画を総括評価するに当たっては、今後の計画策定とその後の推進といった観点に立った、市長の考えを述べる必要があると考える。

＜各基幹・個別計画の評価状況についての意見＞

総合計画には4年後の目標しか記載されておらず、毎年度の実施すべき取組みや到達目標が定められていないことから、各基幹計画・個別計画の評価がぶれる可能性がある。毎年度ごとの計画等、評価の妥当性を判断できるだけの追加情報を整えることについて検討されたい。

◇総合計画審議会の意見／【Action】の観点からの意見等

＜今後の展開や策定に向けて考慮・検討を要する事項＞

地域自治システム推進事業は、総合計画の中においても重要な位置付けを占める事業であると考えられ、順調な進捗を期待しているところである。当該事業を推進していくにあたっては、事業をめぐる不安定な状況を改善していくことが必要であり、そのためにも十分な取組みを丁寧に展開していくことが必要と考えるので努力されたい。

また、当該事業をはじめとして、総合計画に位置付ける事業を計画どおりに進めていくためにも、必要な事業費については、予算化の努力を尽くされるよう要請する。